

岐阜市の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

市とハローワークが連携して、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームにて職業紹介等を実施。

市

市役所庁舎内の提供

国

職業紹介・職業相談の実施等



① 事業内容

- ・就職支援ナビゲーターより、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームで生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談や職業紹介を実施

② 協定・事業計画

- ・岐阜市長と岐阜労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を岐阜市と岐阜労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。



この協定の締結により、生活困窮者の早期就職に向けた就労支援の強化・充実が図られ、自立への支援の一層の強化と利便性向上を実施。

(1) 実施体制

岐阜市

- ・ 面接相談員、就労支援員、キャリアカウンセラー、ケースワーカーを配置

国(ハローワーク岐阜)

- ・ 就職支援ナビゲーター2名を配置
- ・ 求人情報提供用のパソコン1台を配置

(2) 事業目標と取組状況(8年度)

事業内容	事業目標(年度)	取組状況 (令和8年6月末時点)
生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談、職業紹介等の実施	利用者数 2,000名 支援対象者数 180名 就職者数 256名 (参考)前年度目標 ・利用者数 2,000名 ・支援対象者数 180名 ・就職者数 231名 ・就職率 41.3%	利用者数 228名 支援対象者数 35名 就職者数 43名 就職率 14.3% (参考)前年同月実績 ・利用者数 462名 ・支援対象者数 41名 ・就職者数 58名 ・就職率 19.5%

一体的実施事業（岐阜市）による就職成功例

男性：60代

・希望職種：清掃

① 求職者の課題

・H21年から生保。それ以降、3度ほど職に就くもいずれも数ヶ月で離職。運転免許もなく学歴は義務教育のみ。働かない状態が長期に渡り、現状に満足している就労意欲が極めて低いケース。

② 紹介の経過

・就労支援はH23年から10回以上実施。ただそれは本人の意思ではなく指示されやむを得ず行っていた。そのため本来の就活ではなく「活動実績のための活動」になっていたため、実績作りの為に形式的な応募をするが実際は面接に行かない、行っても自ら不採用になるような言動をとるなど繰り返していた。結果、上述の事業所が40社にものぼり、それ以外の応募先が限られてしまい、以前応募した事業所に再度応募を試みるが、過去の履歴が残っており断られてしまうなど、応募先すら見当たらないような状態だった。そのため安易に形式的な応募はさせず、具体的な行動計画を立てていった。

③ 結果

・紹介就職 パート マンション清掃

④ 職業相談員の所感

・就職しても研修中に相手が高圧的に来ると我慢出来ず喧嘩になり辞めちゃうのがお決まりのパターンになっていた。ただそれも年齢を重ね徐々に落ち着いてきたこと、このままいつまでもこんな状態を繰り返していくのか、自分の人生はそれでいいのか、客観的に自分の姿を見つめ直すことで以前より少しずつ前向きになり、他県にある応募先の事業所まで乗ったこともない電車を使い継いで面接に行くなど、段階を経て変わっていくことが出来た。就労意欲が低くても、自分自身が変わろうと思えば、いつでも変わることが出来るということを教えられた事例。

⑤ 本人のコメント

・「制服や業務連絡用の携帯も貸与され、自転車通勤のため雨の日用にカッパも購入した。今度はコツコツ頑張ってみる。」